

市 章



(昭和12年11月3日 制定)

大阪毎日新聞社において、全国より募集選定し、本市に贈呈せられたものである。

上下の井は二井(新居)を意味し、末広形の横の開きは工業、港都、灯台の光芒をあらわしている。

市 花

(つつじ)



市制施行30周年(昭和42年)を記念して、市民総ぐるみで、花いっぱい運動をすすめる心をこめて、市花に選定。

市 樹

(くす)



市制施行30周年(昭和42年)を記念して、市民総ぐるみで、緑いっぱい運動をすすめる心をこめて、市樹に選定。

新居浜市民憲章

別子おろしのきびしさに、瀬戸の朝かぜのおおらかに、すばらしいあすを夢みて、たくましく生きる、わたしたち新居浜市民は、魅力ある田園工業都市をめざします。

あざやかな緑 あふれるまち、
自然を愛して そだてましょう。

元気なかけごえ ひびくまち、
スポーツに親しみ きたえましょう。

文化の花さく ゆたかなまち、
こどもを守って きずきましょう。

水と空気の きれいなまち、
よごさぬ心で つくりましょう。

世界とむすぶ 平和なまち、
みんなの力で まもりましょう。

(昭和47年11月制定)

新居浜市高齢者憲章

わたくしたち新居浜市民は、だれもがすこやかで心豊かな生活ができ、長生きしてよかったと思える『生きがいと思いやりあふれる新居浜市』をめざして、この憲章を制定します。

一 わたくしたちは、
高齢者が社会の建設者として尊重され、敬愛されるまちづくりにつとめます。

一 わたくしたちは、
高齢者が心のやすらぎのもてる、なごやかでうるおいのある家庭をつくります。

一 わたくしたちは、
高齢者が安心して快適に暮らせる、住みよい環境をつくります。

一 わたくしたちは、
高齢者が知識と経験を生かせる社会活動をすすめます。

一 わたくしたちは、
高齢者が健康を保ち、生きがいのもてるまちづくりにつとめます。

(平成4年11月3日制定)

新居浜市歌

一 明けゆく世紀 玲瓏と

伊予の山河に陽は昇る

見よ 新生の意気もえて

蕤伸びゆく わが都

こゝぞ 民主の新居浜市

二 遥かに別子 鉦山晴れて

市民勢いて起つところ

文化 産業 絢爛と

花咲き薫るこの繁華

興せ 工都の新居浜市

三 行き交う船も賑やかに

招く御代島 四阪島

世界を結ぶ 観光の

絵巻はつきぬ瀬戸の海

拓け 自由の新居浜市

四 愛媛の天地うらゝかに

映えて平和の鐘が鳴る

あゝ 撥瀬と海陸に

躍進やまぬ わが市勢

謳え 栄ある 新居浜市

(昭和22年11月制定)